

# 43年度版 立教大学新聞

# 受験特集号

発行所  
豊島区西池袋3丁目  
立教大学新聞学会  
電話 983-0111(代)◎  
内線 688番  
発行人 小川岩雄  
責任者 伊藤晋治  
毎月15日発行 定価80円



四二年度入試問題掲載

早慶受験  
最高権威

# 早稲田学院



空調装置完全暖冷房

**新学学期学部別コース編成** 1ヵ年完成の充実内容  
開講 4月・9月  
必勝の実力養成と傾向・対策講座

**特別夏・冬大講習会** 夏期 7月中旬  
冬期 12月中旬

**公開総合試験会** 英・数・国・理・社・  
総合実力判定資料付

比類なき実績こそ信頼の泉

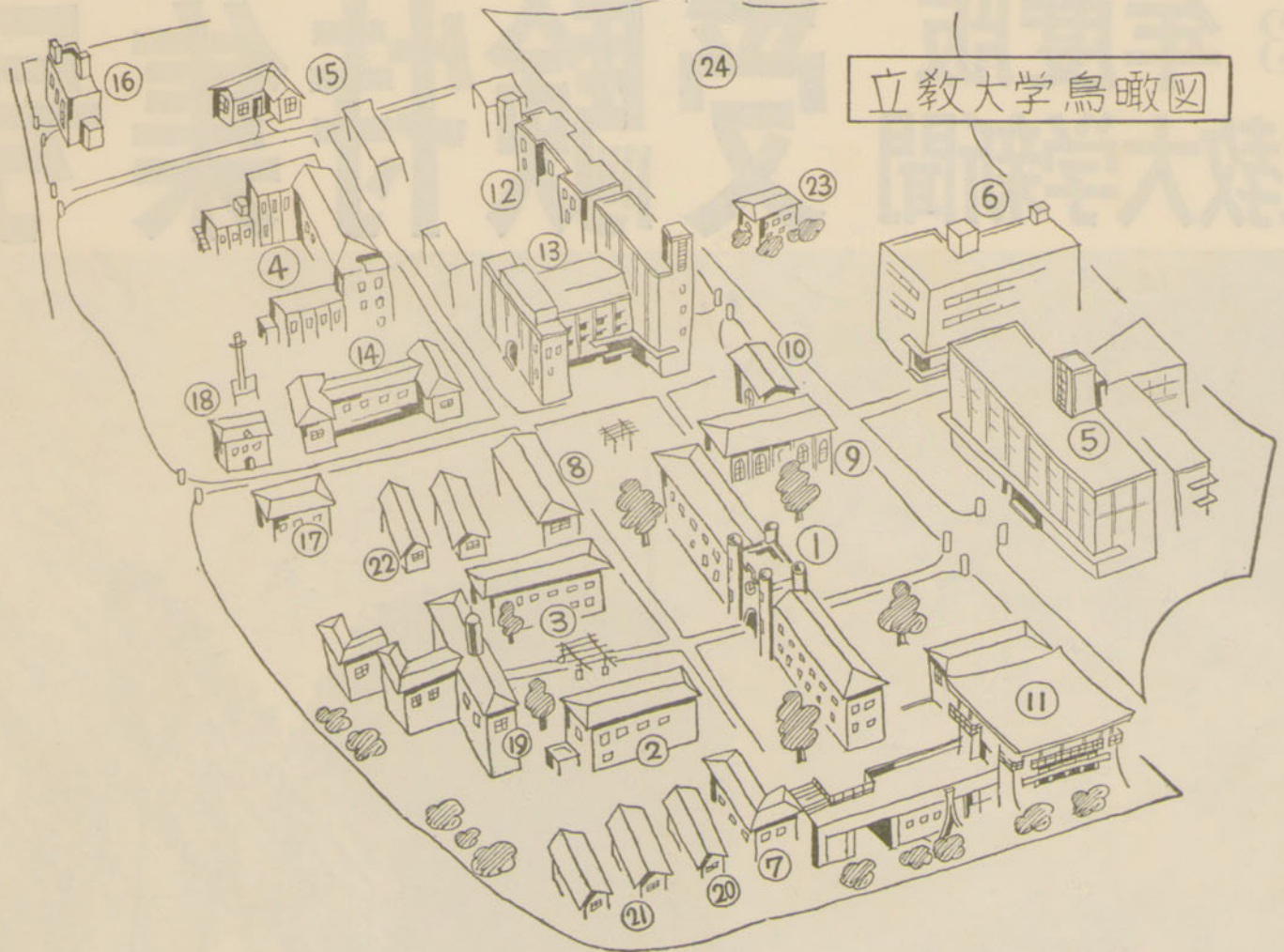
早大合格 2977名  
慶大合格 2069名  
東大・一橋・外大池  
国立有名大学 827名  
其他立教・中央  
上智・日大等全員合格  
同一合格比率 1名3.5校合格



最大の合格率は常に  
最高の指導力から生れる

東京都新宿区高田馬場駅際 駅1分ホム中央  
電362-9281天理教隣 白亜7階

### 立教大学鳥瞰図



#### 図説明

- 1 本館時計台
- 2 2号館 (研究室)
- 3 3号館 (研究室)
- 4 4号館
- 5 5号館
- 6 6号館
- 7 7号館
- 8 8号館
- 9 チャペル
- 10 チャペル会館
- 11 図書館
- 12 12号館
- 13 タッカーホール
- 14 体育館
- 15 学生相談所
- 16 ミッチェル館
- 17 立教学院診療所
- 18 心理学研究室
- 19 立教大学第一食堂
- 20 学生会本部
- 21 学生会部室
- 22 学生会部室
- 23 体育会館
- 24 学院グラウンド

## 教育制度

### 学年制と

### 単位制の併用

本学の「二」に分けられている。二年は、「二」一般教育課程を、三、四年は「二」専門課程を学ぶことになる。本学における「二」一般教育課程の制度は私学においては立教独自の学年制と単位制の併用が採用されている。学年制と単位制の併用とは、簡単に言えば、定められた単位を取得すれば進級することができが定められた単位を落とすと原級にとどまり、既に取得した科目も再履修しなければならない制度である。旧来の狭い領域に限られた専門教育のみならず、人文・社会・自然の各分野を通して、全般的な教養を身につけた、人格・識見豊かな人間を育成する有意義な制度でもある。

また本学の「二」一般教育課程における出欠制度は極めて厳重である。比較的多数で受ける授業でも、「出入」は確実にとられ、学期末にはその集計の結果が発表される。全授業時間の五分の二以上出席すると自動的に試験を受ける資格を生かすことに定められている。これは近年著しい傾向を示している大学のマンプロ化を防ぎ、学生の学問的水準を向上させ、学生生活を正しい方向に導くために採用されているものである。

本学では学生は入学と同時に五〇人内外のクラスに分けられる。固定の教室が定められ、各人には固定の座席が与えられる。合授授業以外の授業はすべてなされる。各クラスには助言者として、指導教授がつけられる。お互いに学生は、面談もなければ出身校も異なる。指導教授は一回一回の指導の時間に立教スリットを根拠とした交わりの場を創り出し教授と学生、また学生間をより親密なもの

としていられる。このようにしてお互いに心を開いて語り合い大学の建学精神をもとに強力な連帯意識が創り出され、学生は自己を確立していくのである。また本学には学生の悩みを解決してくれる学生相談所が設けられているので、大

いに利用されたい。大学における定期試験は一般教育においては前期(七月上旬)と後期(二月上旬)に分けて行なわれる。百点満点で六〇点以下は不合格とされる。一年の全授業科目数の三分の一以上が不合格である

を養成するから、学生志望でないものは来るなどということではない。知識人の社会での役割は学生になることに限らない。知識人でない学生—つまり、知識

人間の生活で、何の努力も苦しみも伴わないことなどありはしない。だから、何をすることも努力し苦心しなければならぬ。また、その努力が苦心が意味あることのためになされるか、意味あることの実現にむかひにくくなされていくか、努力も苦しみも喜びに連なるか苦しみとなるかかまきまるのではないだろうか。

それから、自分は大学に進むのは何のためかを考え直してほしいものである。大学に進学する能力があっても、必要のない人が大学に入ると失望することになる。大学に入る必要と目的は、良い就職をするためなどというだけでは、知識人としての役割を果たすことを任務として自らに課している者にとつてのみ、大学に進むということが必要なのである。

## 大学進学の意味の再考を願う

総長 大須賀 潔



場は原級措置(落第)となる。但し、二年から三年に進級する際は一科目でもおとせると原級措置となる。十分注意されたい。一般教育における履修科目には専門科目が余り入っていない。三年になるまで授業は完全に専門教育に移される。ここでは原理的な専門知識を習得した職業人を養成することが目的である。

専門課程に入る指導教授制もクラス制もなくなり純然たる単位制となる。その代りとして「ゼミナール」が設置され、教授と学生が一定のテーマを中心に研究し、より深い学問追求がなされる。

で、社会生活の中心にもある。殊に、今日のように、急激に変化しつつある社会においてはそうである。所謂、知的職業だけが知識人の働き場なのではなく、会社で働くにしても、大企業のトップ・マネジメントのみ知識人の働き場があるのではなく、大企業の下級職員の仕事も知識人によってなされることが要求されている。中小企業も知識人を要求している。

右にいった意味での知識人の役割というものは、職種にあるのではなく、どのような職種においても知識人の役割はあり、それは、その役割の果し方にあるのだ。つまり、知識人に要求されている役割は、知識の果し得るものであり、知識を身につけて、これを使える人には、物事を人間の本来性に即して判断し、それを表現する能力があるが、これである。

だから、大学に進学する人は、自分自身に確かめてほしい。自分は機械でも出来る人間をやることにあまんじ、与えられるチャンスをも自分のために利用しようとしているのかどうか。これはサブリーマン根性で、こんな人は大学に入る必要はないのだ。大学に入る必要のある人は、機械が出来ないことを、知識を習得することによってしようとする人だけである。こういう人をレジスタマン(仕事をやる人)というので、私たちがこうした望みを持った諸君の来校を歓迎する。こうした希望を持つ人たちは試験も地獄ではなくなるだろう。

空調式暖房完備  
冬期講習会  
—申込順受付中—

# 代々木学院

大学受験  
高校補習

◇ 大学受験科	12月16日～12月19日
大科(前)	12月20日～1月7日
講科(後)	1月3日～1月7日
◇ 高校科(高1・高2・高3)	12月20日～12月23日
合	12月24日～1月7日

公開模試 —受付中—  
第6回目  
1月21日(日)  
全科目実施  
5科目以上600円  
1月27日(正午)



代々木学院本館全景

東京都渋谷区代々木1の55・国電代々木駅下車右折1分・電話(370)1321代表



本年度の就職状況

Table showing employment status by industry (就職先) and faculty (経法社文理計). Columns include industry names like 電力, 機械, 印刷, etc., and counts for each faculty type.

昭和41年度(自3月31日現在) ( )は女子

諸君が大学生として、学問に精進をこらねるためには、経済生活が安定していかなくてはならない。

奨学金は、毎月自分に与えられる金額を、最も効率的に使用する。

また、日本育英会をはじめ、奨学金の多くは、貸与されるものである。

学費、八戸市奨学金、大阪府育英会奨学金、長崎県奨学金、山根奨学金、長崎県奨学金、新潟県教育奨学金、給付を中心とする健康保険で生じたのである。

奨学金は、日本育英会奨学金、地方公共団体奨学金、民間企業による奨学金の他に、立教大学独自の奨学金制度として学術奨励奨学金、学業奨励奨学金、必要者奨学金、次期奨励奨学金、大田区役所奨学金、足立区役所奨学金、北九州八幡区奨学金がある。

各都道府県および民間育英団体の奨学金には、都育英賞、都設奨学金、ウイリアムス奨学金、米國聖公会奨学金がある。

立教大学学術奨励奨学金には、松崎奨学金、立教学院奨励奨学金、寺尾奨学金、ウイリアムス奨学金、米國聖公会奨学金がある。

立教大学学術奨励奨学金には、松崎奨学金、立教学院奨励奨学金、寺尾奨学金、ウイリアムス奨学金、米國聖公会奨学金がある。

学生生活のために

充実化への手びき

学費の増大によって、この学生健康保険組合は設立され、今日、利用することのできる医療費の五十%を給付を中心とする健康保険で生じたのである。

立教大学学術奨励奨学金には、松崎奨学金、立教学院奨励奨学金、寺尾奨学金、ウイリアムス奨学金、米國聖公会奨学金がある。

立教大学学生健康保険

必要な給付を受けることができるが先達達が、その必要性を痛感し情熱を注いで設立に努力したことを忘れてはならない。

以下、本学の学生健康保険について簡単に説明する。

就職

本学における就職状況は毎年百%に近い成果をあげている。本学の卒業生は、毎年金融、貿易、商事関係に就職するものが多く全体の四割に達しているが、四十一年度も内容的に例年と大差ない成果をあげた。

また二、三年このかたは、広告、旅行販売などのいわゆるサービス関係及び官公庁、教職関係に就職する人も増えてきている。

四十一年度と比べると四十一年度は、工業・機械関係に就職する者が増えている。

地方から上京する諸君が最初に直面する問題は、下宿のことである。知人、親戚が東京にあるものは別にして、自分で下宿をさがすことは、たいへん不安なことである。

その上、学生生活のためには、希望者は、学生部の下宿カードで自分の条件にあった下宿を選び、斡旋していただきたい。

試験はすでに始まっている



立教大学の入学試験を目前にして、受験生諸君はあれこれと慌ておられることが思うが、蛇足ながら、お役に立てば幸甚と思ひ、思いつゝを少し述べてみたい。

第一に、試験日が近づくにつれて、今まで思ひもなかった無りや不安感が意識されてくる。誰でも経験することである。しかし「失敗したらどうしよう」という気持は拭いきれない。

大抵入試を競争試験とみなす。競争試験と呼ぶのがいい。競争率が十倍とか、この列から二人だけ合格すれば、あとの人は全部不合格になる。

第二に注意したいことは、選抜科目の比重を考慮することである。文科系なら英語と国語と社会であるが、この社会の整理、仕上げに手抜かりがないか、理科系なら、数学と英語と理科であるが、先般の理科の整理、仕上げが万全であるか、をもう一度考え直してはどうか、ということである。

おぼえて頭の中に系統もななく積み重ねられた事項を、これからの短期間に、整理タンスの中に、項目別に整理とおさめる作業を、コソコソや入ら無関係のひととでは、大変な違いがある。限られた時間のなかで、ターゲットが早かつたという利点があるが、理役の人は、

者になる、とか考えること自体誤りである。なぜか。入試は実質、資格試験なのである。その証拠に、A君は五つの大学を受験したが全部合格した、B君は三つの大学を受験したが一つも失敗した、という例がいくつもあるからである。私立大学の場合、教員目録が三つしかない。国立の五教科の場合、競争試験である。国立の場合、英語の客観テストを失敗したが社会がよかったので埋め合せができたか、理科がよくてきたので数学の失敗がカバーされたかということに、周囲の受験生は皆競争相手である。ライバルであるという見方は余りにも楽観すぎる。そうではなくて、六割の水準に達したわれわれをこの群がる受験生の中から合格者として決めてくれる試験だ、競争試験でなく選抜試験でもなく、資格認定試験であると自分に言い聞かせることが大切である。

第三の点は、立教大学は、何と言っても英語の基礎力を重視する。英語を重視すると言わないで、英語の基礎力を重視するといふ点に注意していただきたい。基礎固めをおろそかにする受験生は、大学は、入学後何を期待できるであろうか。第に外国語をもちとて、又外国語演習のおりにも、英語の基礎が不十分な学生へのいお荷物になるものはないからである。英語の基礎が不十分な学生は、大学教育を受けるには不適格という判定をまずにまきまきしている。これが入試までの短い期間、諸君はもう一度、高校一年生の英語の家庭教師を引き受けたつもりになって、英語の基礎をやり直して、復習していただきたい。最後に、これから睡眠型を調整するつもりで迎えていただきたい。受験生には、午前中は、もうすでに起きていて、午後から頭が冴え出し、電灯が二回一掃調子がよい、とこらえイブが多い。しかし本番の入試は午前中からである。せひ最高のコンディションを作り、朝六時に起きる習慣を身につけていただきたい。そのためには、遅くとも夜は十二時前に床についておやすみをしてほしい。

主要科目に追われてつい選抜科目まで、手がまわらない、時間不足、いきなれをなげくことが多いため。ここでへこたれれば、選抜科目の仕上げに徹しようではないか。あせった気持ちを「振り返し」て、最良の武器と戦って、悠々として気分を落ち着けて、選抜科目を精一杯頑張ってください。

立教大学は、何と言っても英語の基礎力を重視する。英語を重視すると言わないで、英語の基礎力を重視するといふ点に注意していただきたい。基礎固めをおろそかにする受験生は、大学は、入学後何を期待できるであろうか。第に外国語をもちとて、又外国語演習のおりにも、英語の基礎が不十分な学生へのいお荷物になるものはないからである。英語の基礎が不十分な学生は、大学教育を受けるには不適格という判定をまずにまきまきしている。これが入試までの短い期間、諸君はもう一度、高校一年生の英語の家庭教師を引き受けたつもりになって、英語の基礎をやり直して、復習していただきたい。最後に、これから睡眠型を調整するつもりで迎えていただきたい。受験生には、午前中は、もうすでに起きていて、午後から頭が冴え出し、電灯が二回一掃調子がよい、とこらえイブが多い。しかし本番の入試は午前中からである。せひ最高のコンディションを作り、朝六時に起きる習慣を身につけていただきたい。そのためには、遅くとも夜は十二時前に床についておやすみをしてほしい。

立教大学の入学試験を目前にして、受験生諸君はあれこれと慌ておられることが思うが、蛇足ながら、お役に立てば幸甚と思ひ、思いつゝを少し述べてみたい。

43年3月開館

東郷女子学生会館 東京都渋谷区神宮前1丁目5番3号

静かな東郷神社の庭園に女子学生だけの清潔な寮が誕生します



地上9階・地下1階・381室/個室158 2人室223・収容人員604名 設備/冷暖房・勉強机・椅子・本棚 ベッド・洋服ダンス・インターホン・化粧室・トイレ 共用設備/食堂・大浴場・シャワールーム 医務室・その他一切

地下鉄神宮前より12分 国電原宿駅より徒歩3分

お申込みはお早めに 資料は下記へどうぞ TBS不動産株式会社 東郷会館建設事務局RE内 東京都港区赤坂5-3-3 ☎582-7351



TBS不動産株式会社は我が国最大の民間放送局TBSの系列グループの一員です

# 文化会

本学のサークル活動は盛んであり文化会所属団体だけでも七二余り、その他、学生会には種々な独立団体、チャペルを中心とし宗教団体等が約五〇あり、それぞれ真摯な探求と学問の発展を期して活躍する活動を行っている。大学生に大きな比重を占める、これらサークルについて、その主なるものを幾つか紹介してみよう。

アジア研究会 アジアの情勢を正しく認識することによって、正しい人生観、世界観を身につけることを目的としている。

英語研究会 今や世界へのライセンストをいえる英語を研究、理解することによって、関心が世界に広がるとともに、日本人が国際社会において必要となる英語の知識を身につけていく。語学関係のサークルにはその他、スペイン語研究会、経営学研究会、経営管理研究会、マーケティングの実践を行なうマーケティング研究会、英語研究会、経済学研究会、マックス主義の観点から、社会の経済、歴史法則を自己の力で明らかにし、世界の動きを正しく判断しようとする。

社会学研究会 矛盾だらけの現代社会がわれわれは、どこで生きてゆかなくてはならないのかという、素朴な疑問意識から出発し、科学的な物を見方、考え方を通じて、現代社会の正しき生かす方を見出すことを目的とする。

心理学研究会 マスキの発達に伴って複雑化した現代社会の中心にあつて、人間性の回復と健全な人間性の回復を、心理解の側面から追求する。

農村問題研究会 日本の資本主義の発達を考察するに際し、農村問題の発展を研究し、農村問題の発展を追求する。

法学研究会 司法試験を以て、国家公務員試験を以て、合格し、法律の専門家として、社会の発展に貢献する。

新学研究会 不偏不黨の精神で、新学を以て、学問の発展を期する。

部活動研究会 学園内外の様々な身の回りにある不当な差別等の社会的問題を、学生生活の立場から取り上げ、具体的な実践活動を通じて、自己の生き方を、社会の発展に貢献する。

音楽研究会 音楽の楽しさを味わうことを目的とする。

読書研究会 読書の楽しさを味わうことを目的とする。

英語研究会 英語の楽しさを味わうことを目的とする。

ゴルフ研究会 ゴルフの楽しさを味わうことを目的とする。

釣り研究会 釣りの楽しさを味わうことを目的とする。

登山研究会 登山の楽しさを味わうことを目的とする。

スキー研究会 スキーの楽しさを味わうことを目的とする。

自転車研究会 自転車の楽しさを味わうことを目的とする。

スキー部 ウィンタースポーツの楽しさを味わうことを目的とする。

サッカー部 サッカーの楽しさを味わうことを目的とする。

ソフトボール部 ソフトボールの楽しさを味わうことを目的とする。

バスケットボール部 バスケットボールの楽しさを味わうことを目的とする。

バレーボール部 バレーボールの楽しさを味わうことを目的とする。

卓球部 卓球の楽しさを味わうことを目的とする。

テニス部 テニスの楽しさを味わうことを目的とする。

バドミントン部 バドミントンの楽しさを味わうことを目的とする。

空手部 空手の楽しさを味わうことを目的とする。

剣道部 剣道の楽しさを味わうことを目的とする。

柔道部 柔道の楽しさを味わうことを目的とする。

相撲部 相撲の楽しさを味わうことを目的とする。

射撃部 射撃の楽しさを味わうことを目的とする。

# サークル紹介



現在文化会所属団体は70を越え体育会所属団体も40を越えるに至っている。また文化会体育会外の独立団体も年々増加の一途をたどっている。これらのサークルは人間相互のコミュニケーションの断絶を防ぎ、失なわれつつある人間性を回復させる一方、文化の創造の一翼を担っている。若さに溢れた諸君を、サークルは両手を広げて待つている。大学生活を有意義に過ごすためにもサークル活動に君たちの若いエネルギーをぶっつけてみよう。

現在文化会所属団体は70を越え体育会所属団体も40を越えるに至っている。また文化会体育会外の独立団体も年々増加の一途をたどっている。これらのサークルは人間相互のコミュニケーションの断絶を防ぎ、失なわれつつある人間性を回復させる一方、文化の創造の一翼を担っている。若さに溢れた諸君を、サークルは両手を広げて待つている。大学生活を有意義に過ごすためにもサークル活動に君たちの若いエネルギーをぶっつけてみよう。

# 体育会

硬式野球部 立教体育会の花形。学生生活において、誰しもが一度は必ず経験するであろう。明治四十二年部結成以来、多くの選手を生みだして輝かしい成績を残している。かつての杉浦、長崎、最近の土井、樋田などの名選手を送りだしている。

相撲部 創立大正八年。過去に輝かしい戦績があり、学生組織も生みだしている。

剣道部 上級生に道場がある。年二回、練習時間は二時半から五時まで、練習時間は二時半から五時まで。

柔道部 部員の約三分の一は、大に入ってから柔道を始めたものがある。柔道を通じて、人間の形成も同時に進歩している。

山岳部 日本山岳会のパイオニアとしてその方面では知られている。

自衛隊部 団体の出場はほとんどない。

空手部 部員すべてが大学に入ってから空手を始めている。合格者、先年ヒマラヤ遠征、アンデス登山に成功、コーカサス遠征を計画中。

サッカー部 サッカーの楽しさを味わうことを目的とする。

ソフトボール部 ソフトボールの楽しさを味わうことを目的とする。

バスケットボール部 バスケットボールの楽しさを味わうことを目的とする。

バレーボール部 バレーボールの楽しさを味わうことを目的とする。

卓球部 卓球の楽しさを味わうことを目的とする。

テニス部 テニスの楽しさを味わうことを目的とする。

バドミントン部 バドミントンの楽しさを味わうことを目的とする。

空手部 空手の楽しさを味わうことを目的とする。

剣道部 剣道の楽しさを味わうことを目的とする。

柔道部 柔道の楽しさを味わうことを目的とする。

相撲部 相撲の楽しさを味わうことを目的とする。

射撃部 射撃の楽しさを味わうことを目的とする。

ハンドボール部 現在、関東学生ハンドボール連盟に所属している。

バレーボール部 バレーボールの楽しさを味わうことを目的とする。

卓球部 卓球の楽しさを味わうことを目的とする。

テニス部 テニスの楽しさを味わうことを目的とする。

バドミントン部 バドミントンの楽しさを味わうことを目的とする。

空手部 空手の楽しさを味わうことを目的とする。

剣道部 剣道の楽しさを味わうことを目的とする。

柔道部 柔道の楽しさを味わうことを目的とする。

相撲部 相撲の楽しさを味わうことを目的とする。

射撃部 射撃の楽しさを味わうことを目的とする。



## 二十年の伝統を誇る京浜随一最高合格率

43年度新学期受付開始

国立大学総合科  
早大・慶大総合科  
一般私立大総合科

文・理工系  
大学受験単位・各科目

特別講座(単科)二高三クラス

\*大学受験数学・英語必勝講座  
\*大学受験国語・理科必勝講座

原仙作他一流講師必勝指導、冷暖房完(則皇)

# 大学受験 城南予備校

川崎市駅前本町22 TEL (22) 2338(24) 2032 国電京浜急行共川崎駅下車3分

## お部屋の事は おまかせ下さい!

組織と伝統と信用をほこる当協会では今回電子計算機(セレクター)の設置を致しました。あなたの希望をわずか10数秒で撰出。診断も引き受けます。

### 貸間のデパート

## 日本学生協会

本部	東京都千代田区神田三崎町2-21-9
TEL	(265) 1041~9番
支部	水道橋駅前、青山車庫前、早大裏門前、大塚駅前、高田馬場裏口、中央大裏門前

# 受験生に望むこと

## 学部・学科紹介

### 創造的人間を目ざして

一般教育部長 赤司 道雄

立教大学には五つの学部がある。知性の根本となるこれらの教養科目が、どの学部に入學した学生も、最初の二年間を、それぞれ分野の専門家に よって履修し、しかも豊かな見識をそなえた人格の形成を目ざしながら教育されているのである。

まず、教目においては、各学部の専門科目とは性格を異にする。教養科目を三年を終るまでに修得する。例へば経済学部は所屬する学生は、一、二年間に経済原論とか簿記などを取得する機会が与えられるが、これは専門の基礎科目である。

専門科目に入ってからゼミナールその他の指導の教師のほかに立教大学の学生は、もれなく一般教育課程の間に二名の相談相手を持つわけである。本学の学生には教師との個人的な対話の場が常に与えられているのである。しかも個々の学生は、この間にクラスの固定教室と、各々自分の机が定められ、ここで単クラスの講義その他の必修科目が講ぜられる。現在の大学生活に失われがちな教師と学生、学生と学生との連帯感が、この活動と併列してここで保たれ、さらにこの二名の人間的接点によって、人格の形成が高められるはずである。

以上述べた一般教育部の教育体制は、大学を卒業して社会の何の方面に進む場合でも、本学の卒業生が社会を常に前進させる創造的人間としての幅を、そして深い

な働きをする人間として世に出ることを目標にしていることよ

### 志望の諸君に

文学部長 手塚 隆義

今、この新聞(立教大学新聞)が

その前に一つ考えてみて下さい。私が題に「志望」としてこの雑誌を手にして、いざさか

私は世の大多数の志望する青年の、受験—入学—卒業—就職(女性の場合には結婚)に

この「人間形成を目的とする」という必要はあります。したがって、

諸君の内には、「そんな試験は

### 経済生活・関係の

仕組みを説明

経済学部長 三宅 義夫

経済学部には、経済学と経営学とが、いすれも経済学を学ぶ

経済学とは、経済学が理論的に

経済学は、経済学が理論的に

経済学部には入りたくないが、入

### 学問的思考態度の育成

社会学部長 安藤 瑞夫

わが国で社会学部を有する大学

社会学の発展に寄与する

社会学の発展に寄与する

### 組織と制度の学部

法学部長 尾形 典男

大学の法学部は、いまでもな

このように組織と制度を

法学部が教育士への関与

自分の適性を信じて

努力せよ

理学部長 田島英三

立教大学の理学部には

理学部が教育士への関与

理学部が教育士への関与

理学部が教育士への関与



# 出題傾向を探る 鍵は英語の出来

## 理学部

▲数学Ⅳ一年度から傾向が若干変わったが、四三年度以降共通四問を解答するようになる。決り、問題では、物理的なものは出て来ない。断然物理的なものが出て来ない。問題が数多くある。物理的なものは、一五〇点中一〇〇点以上は出ない。数学の点数は、その程度である。数学の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。数学の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。数学の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。

## 社会学部

▲社会学部は、四三年度は経済学部の出題傾向と比べて二問多く、六問に増加している。出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。社会学部の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。

## 経済学部

▲経済学部は、四三年度は社会学部の出題傾向と比べて二問多く、六問に増加している。出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。経済学部の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。

## 社会学部

▲社会学部は、四三年度は経済学部の出題傾向と比べて二問多く、六問に増加している。出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。社会学部の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。

## 文学部

▲文学部は、四三年度は社会学部の出題傾向と比べて二問多く、六問に増加している。出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。文学部の出題傾向は、四三年度から化学Ⅳに数学が加えられたが、素直な解答が求められる。



立大受験生の健闘を祈る！  
株式会社 中野組  
本社 千代田区九段北4丁目2番地28号 TEL (265) 4661 (大代表)

登録商標  
元祖 餃子會館  
(池袋) 南口東上線改札口前支店 (971) 4985  
(新宿) 歌舞伎町西武新宿駅前本店 (368) 6603  
F1. スナックベリメニ、スパゲッティ F2. 餃子會館  
(新宿) 歌舞伎町西武新宿駅前支店 (371) 4369  
(新宿) ミラノボーリング横味の街支店 (368) 5491  
(新宿) 紀伊國屋ビル地蔵支店 (352) 1808

神田予備校  
基礎の充実から応用の完成までの責任指導  
入試直前講座 12月20日~12月30日  
1月8日~2月20日  
公開模擬試験 ..... 申込受付中  
▶ 12月17日=総合実力練習問題で実施  
▶ 1月7日=重要予想問題により実施  
▶ 1月21日=重要予想問題により実施  
▶ 成績により志望校・進路決定指導  
東京千代田区内神田1-2-7 国電=神田駅(西口)5分 都電=神田橋1分  
電話=(292) 0951



国語問題

経済学部

一 左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(イ) 旅行の足は、日己に亭午に昇れば、船を庭前に昇止む。轆を叩いて警固の武士を近付け、宿の名を問ひ給ふに、「菊川と申すなり」と答へければ、承久の合戦の時、院宣書きたりし旨によつて、光親卿関東へ召し下されしが、此の宿にて誅せられし時、昔南陽黒菊水、汲下流而延命、今東海道河宿西岸而終命と書きたりし、遠き昔の筆跡、今は我が身の上になり、哀れやいと増さりけん、一首の歌を詠じて、宿の柱にぞ書かれり。

- (A) 線(イ)の部分の口語訳せよ。
(B) 線(イ)の部分の文字の読み方を示せ。
(C) 線(イ)の部分は何となく、正しくは、何という文字を書きよべきであるか。
(D) 空欄「A」に補うべき語を、左記各項の中から選べ。
(E) 線(イ)の部分に返り点をつけよ。
(F) 本文中の歌に、枕詞掛詞、縁語の修辭があるか、もしあれば、その部分を選びよ。

二 左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(1) 人間に与えられたいろいろな能力の中で、私が一番ありがたいと思うのは想像力である。電子計算機がどんなに発達しても、空想のできない機械は、遠方の人がよこした一枚の絵葉書が、受けとる人にとつてどれだけの意味を持ちうるかは、その人が記憶力のほかに「a」をどれだけ働かすかによつて違つてくる。人間が一生の間どのくらい旅行できるものか。

- (2) しかし同時に大変危険なものもある。人間の体の中がどうなつてゐるか、日本人は「解体新書」がホンヤクされる時代まで、はっきりと知つていなかった。他の動物の場合から類推して想像してゐたのだが、人体のカイボウによつて幾つもの誤りがあることを見いだした。この事がその後日本人の肉体的精神を鼓舞するのにどんなに大きな力となつたか測り知れない。空想はしばしば科学の対立物となる。
(3) それも大抵大きな都会に何日か滞在した経験があるだけである。私も自分のいふことのない土地について書いたものを読んだり、話を聞いたり、写真や映画を見たりして、それらを適当に想像力で補つてゐる。ある土地だけでは、名を知つていても、会つたことのない人が

三 左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(1) 人間の現実とは私どもの想像力をはるかに越えて進歩してゆく。その通りの場合もあり、大変違つてゐる場合もある。要するに想像力は大変大切なものである。
(2) 旅行や探検を本業とする人を除けば、それぞれの人は地球の表面のごく一部分だけを動きまわつて一生を終るのである。私なども平均よりははるかに広いパンチを動かさざるを得ない。想像の世界に美しいものが存在する。
(3) 科学は人間の想像力と実証的精神とによつて形づくられる。
(4) 美術家は直接この世界の邪悪と戦つたり、善をすすめたり、真理を説いたりする仕事には大層忙しむ。このことは世の中に尽くしたい心を持つものにとつては、ある種の苦行である。余はある期間、画家として立つたことによつてこの淋しさと戦つてゐる。
(5) 美術家はかくてこの世を美しくすることに、この世を善くすることに、この世を正し善くするに、この世にまかせればよい。この世にコウケンしないように見えても、(イ)にコウケンしてゐる自覚を保持してゐる。
(6) 草や人間の顔を描いて何になるのかと思ふこともあろう。それでは、草や人間の顔を描くことを命じられてゐるのだから仕方がない。そこに宿つた無限を我に捧げよと、人類は彼に命じてゐるのだ。(岸田劉生の文章による)

- (7) 美術家は直接この世界の邪悪と戦つたり、善をすすめたり、真理を説いたりする仕事には大層忙しむ。このことは世の中に尽くしたい心を持つものにとつては、ある種の苦行である。余はある期間、画家として立つたことによつてこの淋しさと戦つてゐる。
(8) 草や人間の顔を描いて何になるのかと思ふこともあろう。それでは、草や人間の顔を描くことを命じられてゐるのだから仕方がない。そこに宿つた無限を我に捧げよと、人類は彼に命じてゐるのだ。(岸田劉生の文章による)

四 左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(1) 最も適當なもの一つを選び、番号で答えよ。
(2) 美への奉仕ということを内から自覚することによつて。
(3) 無限の価値の存在すること。
(4) 罪以外のものが生まれる喜びを無得することによつて。

- (A) 線(イ)の部分の漢字に改めよ。
(B) 空欄「a」に最も適當な語を本文中より抜きだして示せ。
(C) 線(イ)の片仮名の部分(a)(b)(c)を漢字に改めよ。
(D) 本文の内容に該當するもの二つを左記各項より選び、番号で答えよ。
(1) 科学の歴史は人間の空想の幻滅の歴史ともいえる。

五 左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(1) 最も適當なもの一つを選び、番号で答えよ。
(2) 美への奉仕ということを内から自覚することによつて。
(3) 無限の価値の存在すること。
(4) 罪以外のものが生まれる喜びを無得することによつて。

- (A) 線(イ)の部分の漢字に改めよ。
(B) 空欄「a」に最も適當な語を本文中より抜きだして示せ。
(C) 線(イ)の片仮名の部分(a)(b)(c)を漢字に改めよ。
(D) 本文の内容に該當するもの二つを左記各項より選び、番号で答えよ。
(1) 科学の歴史は人間の空想の幻滅の歴史ともいえる。

社会学部

左の文章は、堀河天皇の御臨終に看護申し上げた藤原朝臣の日記の第一節である。熟読して後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

誰いもねずまもり参らせれば、みけしきいと苦しげにて、御足をうちかけて仰せらるるやう、わればかりの人のけふあす死なむとするを、かく目も見たてぬやうあらむや、いかが見こち、ただむせ返りて、御いらへもせられず、たへがたげにまもりあるけはひのしるきにや、問ひやませ給ひて、大式三位、なげしものにと侍ひ給ふを見つかはして、(一)おのれはゆゆしくたゆみたるものかな。われはけふあす死なむとするは知らぬか」と仰せらるれば、「いかで、たゆみさぶらはむするぞ。たゆみさぶらはねど、力の及びさぶらふ事にさぶらはばこそ」と申さるれば、「何か、今たゆみたるぞ。いま「a」と仰せられて、いみじう苦しげにおぼしたりければ、片時御かたはら離れ「b」すただ、われ、乳母などのやうに添ひふし参らせて泣く。

(注) \*大式三位—天皇付きの女房のひとり。

(A) 空欄「a」「b」には、それぞれ何と云ふことを入れるべきか。ただし、「a」は左記(a)群より、「b」は(b)群より、それぞれ最も適當なもの一つを選び、番号で答えよ。
(a)群：(1)こころみむ (2)こころみ給へ (3)さぶらはむ (4)さぶらひ給へ
(b)群：(1)給は (2)さぶらへ (3)参らせ (4)申せ

- (B) 本文には会話の箇所が四か所(イ)(ロ)(ハ)(ニ)ある。それらはそれぞれ誰の言葉か。左記各項の中から最も適當なもの一つを選び、番号で答えよ。
(1)堀河天皇 (2)藤原朝臣 (3)大式三位 (4)その他の女房 (5)他人などの侍臣
(C) 線(イ)の部分の漢字を、左記各項から選んで、番号で答えよ。
(1)天皇も死の際には歌々子の子のようになつた。その人間描写が胸を打つ。
(2)堀河天皇は周囲の誰をも信用してゐない。
(3)真心をこめてみとりする藤原朝臣の忠誠、それをよく知る天皇、この両者の心の行きかきがい美しい。
(4)藤原朝臣の忠誠は、天皇を幼少のじぶんから育ててきた乳母であつたからだ。
(5)大式三位はなまげ者だ。そのくせいつも口答えをする。こんな女房が看病してゐるは、天皇の病氣もなおるまい。

六 左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(1) 最も適當なもの一つを選び、番号で答えよ。
(2) 美への奉仕ということを内から自覚することによつて。
(3) 無限の価値の存在すること。
(4) 罪以外のものが生まれる喜びを無得することによつて。

- (A) 線(1)の部分の意味を五字以内で示せ。
(B) 線(2)の部分のよきな修辭法を何と云ふか。左記各項から最も適當なもの一つを選び、番号で答えよ。
(1)倒置法 (2)対句法 (3)省略法 (4)誇張法 (5)反復法 (6)擬人法
(C) 線(イ)の片仮名の部分を漢字に改めよ。
(D) 空欄「a」内にはどのような語を入れるのが適當か。
(E) 右の子規の見解に対する感想を自由に示す。

受験生諸君の御健闘を祈ります

城北予備校

開講 4月10日

願書受付=3月1日より

◎詳細規則書(切手30円封入のこと)

新宿区市ヶ谷左内町29(国電市ヶ谷駅) TEL (269) 2806 (260) 0631

書籍・文房具・日用品・喫茶

大学正門前 立教学院事業会館

立教学院事業部



**文学部 I**

(A) 線を付した片仮名の部分を漢字に改めて、左記各項の中から最も適切なものを一つを選び、番号で答えよ。

(B) 線の部分の解釈として、左記各項の中から最も適切なものを一つを選び、番号で答えよ。

(1) 究極境 (2) 自然界の現実 (3) 理想的法則 (4) 自然のおきて (5) 必ずそうなるという理論

(C) 線の部分の解釈を、二十字以内、句読点も一字に数えよ。

(D) 本文から読みとれる筆者の理想と芸術とはどういふものか、簡明にまとめよ。

(E) 高村光太郎の詩集を、左記各項の中から一つを選び、番号で答えよ。

(1) 「道程」 (2) 「若菜集」 (3) 「赤光」 (4) 「海潮音」 (5) 「月に吹える」 (6) 「みだれ髪」

**文学部 II**

**キリスト教科学**  
**教育科学**  
**史学**  
**ドイツ文学科**  
**フランス文学科**

左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

源頼実「人に知らるるばかりの歌よませさせ給へ。五年が命に替へむ」と住吉の神に「い」たりければ、「落葉雨の如し」といふ題に

木の葉散る宿は開き分くことぞなき時雨する夜も時雨せぬ夜も

とよみて侍りけるを、かならずこれとも思ひ寄らざるるけにや、病ひつき

て、「生かむ」と祈りなるとしければ、家に侍りける女に住吉の歌き給ひて「さる歌よませしは。されば生かすまじ」と「ロ」けるにぞ、ひとへに後の世の祈りになりける、となむ(「今鏡」による)

(住吉) いま大坂市にある住吉神社。歌の神。

(A) 線の部分の解釈を、二十字以内で解釈せよ。

(B) 線の意味として最も適切と思われるものを一つ選び、左記各項のうちから選び、記号で答えよ。

(1) もっと生きていたい、という祈り  
 (2) 来世の幸福を願う祈り  
 (3) せめて死ぬ時は安らかに、という祈り  
 (4) 将来の栄達を望む祈り

ある人たちは、作品には芸術的価値以外のものは存在しないというかも知れない。私はそうは思わない。ある作品の中には、芸術などというものは別に、ある価値が存在しているものだと思うのである。たとえば、ロマン・ローランの小説の中に、ある一つの挿話、「フランスの若し十六、七の兵士を殺せしめようとする」と、その少年が手をさし上げて、「母！母！」と叫んだという話、こうした話、小説に書かれると書かれないにかかわらず、人を動かす力を持つている。その力は、すでに一つの価値だと思ふ。

芥川氏の「蜜柑」という小説の中に、私にはあのような感動が、口頭で聞いたとき、すでにある感動に打たれた。また、私の「思ひ」の筋書は、ちやんと耶馬溪案内記に載っているのであるが、案内記で読んでも、すでに感動に打たれるだろうと思ふ。文芸作品の題材の中には、作家がその芸術的表現の魔杖を触れないうちから、さんとして輝くものがたくさんあると思ふ。それをかりに内容的価値といっておきたい。

私の理想の作品は、内容的価値と芸術的価値とをキョウウエウした作品である。芸術のみに限られて人生に呼かけない作家は、象牙の塔に隠れての山にあるを、ここにまづる人は忘るるも、なまのだ。(菊池寛の文章による)

**文学部 I**

英米文学科  
 心理学科  
 日本文学科

左の文章を読んで後の諸問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

(A) 線の部分の解釈を、二十字以内、句読点も一字に数えよ。

(B) 線の部分の解釈を、二十字以内で解釈せよ。

(C) 線の部分の解釈を、二十字以内で解釈せよ。

(D) 線の部分の解釈を、二十字以内で解釈せよ。

はせて、この歌のころあやしめ給ふは、用意あることにこそ」と厚くめでにけり。(「雨月物語」による)

(注) \* 大徳一高徳の僧。ここは弘法大師を流れる川。

(A) 線を付した(1)(4)の部分の解釈を、二十字以内で解釈せよ。

(B) 線を付した(5)の部分の終止形「むすぶ」を解釈せよ。

(C) 線を付した(3)の部分、例にならって品詞に分解せよ。

て来られたればこそです。たしなみがおありなのですか。

(注) 線を付した(2)の部分について、武士の解釈と法師の解釈とは違っている。

(1) 武士は、旅人が何を忘れると解しているか。  
 (2) 法師は、旅人が何を忘れると解しているか。

ドイツの医者でベルツという人がある。この人は東大医学部の教授として長く職にあり、日本の医学のキソをきずいた人として有名だが、その日記の明治九年十月のところで、次のようにいっている。「今日の日本人は自身の過去について何も知ることを欲していない。教養ある人士も過去にひげ目を感じている。ある日本人は「我らは歴史をもっていない。我らの歴史は今からはじまるのだ」と叫んだ。国民がそのコウウの文化をこのように蔑視することは、国威を外人に対して高めることにならない。かような新興日本人には、どこまでも重要なこと、今までのない新奇のシセツ、制度をほめると同様、にみずからは古代文化の真に合理的なものを尊敬することである。このベルツの意見と同じ考えが、その時期によりややく教養ある日本人の胸にもきざしはじつて、西洋をよく知るにつれて、西洋の諸国が近代文化を進展させることに熱心であるのみでなく、自国の古典や歴史を尊重し、誇りにしていることに気がつきはじつめた。この認識と一方では度にすぎた外国のモホウに対する反感とが、いっしょになつて、忘

68申込受付中

# サンケイ女子学生会館

東京で勉強なされる女子学生のための近代的な学生寮

- 室料 / (2食付) 16,000円~24,000円
- 種別 / 4人室・2人室・個室A・個室B
- 設備 / 鉄筋コンクリート造・地上6階・暖房設備・食堂・勉強室・洗濯室・浴室・日本間・電話コーナー
- 各室とも学習机・椅子・洋ダンス・ベッドが備え付けてあります

〈地下鉄丸の内線・中野富士見町下車歩4分〉

中央線 中野 新宿  
 地下鉄 会館 中野富士見町

\*詳しい資料の請求は—東京都杉並区和田1丁目9-19 TEL(381)7231~3



経済学部

考えた。

3. George は母親に死なれ、父は貧しく、Sophieの  
かせぎも少なかったので、高校をやめて就職した。

4. George は特別な理由もないのに高校を中退し、  
職にもつけぬままぶらぶらして、夜の公園で物思い  
にふけた。

5. 貧しい家庭ではあったが、母に死別してからは  
Sophie が家の中の世話をし、George に経済的な  
援助をした。

6. George は家庭の事情で高校をよく休んだが、ア  
ルバイトも見つからず、遊ぶ金もなかったので、公  
園でおそくまで考えごとをした。

B. 空所(a)を補うのにもっとも適当な語を、下の1~6  
の中から一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記  
入せよ。

1. When 2. Otherwise 3. Nevertheless  
4. Since 5. Although 6. Therefore

C. 下線部(2)の it が具体的にさす名詞一語のまま解答  
用紙の所定欄にしるせ。

D. 下線部(1)および(3)を和訳せよ。訳文は解答用紙の所  
定欄にしるせ。

III. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

In those far-off days, ownership of ( a ) showed  
you were a millionaire. In my home town there  
was only one boy whose father had one. He was of  
a race apart. This was before radio, before televi-  
sion, almost before the movies, and not long after  
the phonograph and the telephone. I never make a  
long-distancc call now without looking over my  
shoulder to see wherther somebody is watching,  
because I was brought ( b ) to believe it was a  
sinful waste. As John D. Rockefeller used to say

to his children, "A two-cent stamp is enough." We  
had nowhere to go and no way to get there. Cleve-  
land, which was thirty miles away, was as inacces-  
sible tons as the other side of the moon is today  
(except to the Russians and the Americans). If  
there had been any to get to Cleveland, and if we  
had been able to pay the fare, we would not have  
been able to pay ( c ) the amusements that  
Cleveland must have offered.

We had been granted the precious gift of poverty.  
Of course, we didn't know we were poor because  
everybody was in the same situation, except the  
boy whose father owned the automobile. Because  
we were poor, we had to resort to "fun" that didn't  
cost much.

I was fortunate: my father was a minister and  
professor. There were books all over the house.  
Then there was the public library. Then there was  
the small and miscellaneous collection on a few  
shelves in the dormitory at college. I read them  
all, all the books in the house, all the books in the  
library, all the books in the dormitory. At least  
that's the way it seems to menoh.

A. 空所(a)を補うのにもっとも適当な名詞を、本文の中  
から一つ選び、英語のまま解答用紙の所定欄に記入  
せよ。

B. 空所(b)にはイ群1~5より、空所(c)にはロ群6~10  
より、もっとも適当な語をそれぞれ一つ選び、その番  
号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

イ群  
1. up 2. about 3. out 4. in 5. down  
ロ群  
6. at 7. against 8. as 9. for 10. on

C. 下線部(1)のことばで John D. Rockefeller が子ども  
たちにさそうとしたことは何か。その主旨(単なる  
和訳は不可)を10字以内の日本語で解答用紙の所定欄  
にしるせ。

E. 下線部(3)の意味にもっとも近い文を下のa~dより  
一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

a. 私が今日あるのは少なくともこんなふうに思え  
る。  
b. 少なくとも現在の私はそんな人間だと思われる。  
c. 少なくともいまの私にはそんな気がする。  
d. 少なくともそれがいまの私に考えられる道だ。

IV. 次の1~8に相当する英語を示せ。答えは解答用紙の  
所定欄にしるせ。

1. 市民 2. 政府 3. 法律 4. 憲法  
5. マスコミ 6. ユニーク 7. エチケット  
8. レジャー

V. 次の文を英訳せよ。訳文は与えられた書き出しで解答  
用紙の所定欄にしるせ。

1. 母親ほど彼の欠点をよく知っている人はいなかつ  
た。  
2. 彼が読書の大切なことを知ったのは、大学にはいっ  
てからだった。

I. 次の各文の空所を補うのにもっとも適当な語句を、そ  
れぞれ( )内の1~4の中から一つ選び、頭初の  
番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- a. If you had \_\_\_\_\_ (1. started 2. le-  
ft 3. departed 4. left from) home five  
minutes earlier, you could have caught the  
train.
- b. I have been \_\_\_\_\_ ( 1 thinking  
2. considering about 3. thinking about  
4. studying on) the question for a long  
time.
- c. We had an earthquake \_\_\_\_\_ (1. yester-  
terday evening 2. last evening 3. in the  
evening of yesterday 4. on the evening  
of yesterday) .
- d. She sent me a telegram \_\_\_\_\_ (1.  
saying 2. telling 3. saying us 4. talki-  
ng)that her father was in serious condition.
- e. They live \_\_\_\_\_ (1. in our next door  
2. in the next door to us 3. next door  
to us 4. next to our door) .
- f. I read it \_\_\_\_\_ (1. on 2. by  
3. from 4. in) the newspaper.
- g. Yesterday a friend of mine met an accident  
and I \_\_\_\_\_ (1. should take 2. had  
to take 3. must have taken 4. must  
take) him to a hospital.

II. 次の文を読み、下のa~jの各文について本文の趣旨  
と一致するものには○を、一致しないものには×を解  
答用紙の所定欄に記入せよ。

Shaking hands is an old custom in almost every  
part of the world. In feudal times it was the  
symbol of homage and loyalty. Today the glad hand  
is an exchange between equals, but there are shades  
of variation in its use. In Holland and England  
the handshake is reserved for rntroductions. In  
France and Portugal employers shake hands daily  
with each employee. In Italy, Turkey, and Greece,  
everyone shakes hands everywhere — in street,  
café, office, home-on meeting and leaving his  
friends. The American who is proud of his firm  
grip, and normally uses an energetic one, may find  
it wise to ease off in many countries. In the  
Middle East, for example, the proper handshake is  
just a gentle pressure. And in the Orient, beware  
of personal contact, including hands. Holding the  
arm or tapping the shoulder is an insult. Instead,  
practice a bow and you'll have as firm a grip on  
the situation as is required.

- a. An energetic handshake is recommended thr-  
oughout the world.
- b. The Dutch don't shake hands so freely as  
the Turks.
- c. It is best to avoid making a personal acquain-  
tance with Orientals.
- d. In former days the handshake was never  
practiced except between very close friends.
- e. A strong hold of the palm is not customary  
in the Middle East.
- f. In Holland and England, people shake hands  
only when they are introduced.
- g. In the Far East one should be careful not to  
tap a friend on the shoulder so casually as one  
does elsewhere, because it might injure his  
pride.
- h. It is required to give as firm a grip as  
possible in the Orient.
- i. An American can feel at ease in shaking  
hands with any person in Asiatic countries.
- j. In some countries shaking hands is done on  
every conceivable occasion.

III. 次の文を読み、下の問いに答えよ。解答はすべて解答  
紙の所定欄にしるせ。

(a)  
Before Christmas time we passed the hat in our  
building for Joe, the elderly porter, and Alma, who  
takes care of the washrooms, and collected enough  
to give each a \$20 bill.

(b) (c)  
When I handed the card with its crisp enclosure  
to Joe, his eyes lit up, and I couldn't resist asking  
what he would do with it. "Well, I'm pretty lucky"  
he answered. "Only myself to think of. So I'm  
going to buy the biggest Christmas basket I can for

(f)  
Alma. That poor woman's got three kids to raise  
and no man to turn to."

(d)  
I was touched as I left him and went in search  
of Alma. Surprised and excited, she cried, "Oh!  
Now I can do something I have been wishing I  
could. You know Joe-well, that poor old soul is all  
alone in the world. I've got my three children,  
and we always have a good Christmas together someh-  
ow. But he has nobody at all. So I'm going to have  
him over with the children and me for the very  
best dinner I know how to fix."

A. 下線部(d)の意味にもっとも近いものを、下の1~  
5の中から一つ選び、頭初の番号を記入せよ。

1. we made our bow 2. we took our leave  
3. we took off our hats 4. we took up a  
collection 5. we gave the hat as a present

B. 下線部(b)の意味にもっとも近いものを、下の1~  
8の中から一つ選び、頭初の番号を記入せよ。

1. 招待状 2. クリスマス・カード 3. 名刺  
4. はがき 5. トランプ 6. 小切手 7. 紙幣  
8. 請求書

C. 下線部(c)は具体的には何をさすか、文中の原語で  
答えよ。

D. 下線部(d)の意味にもっとも近いものを、下の1~  
5の中から一つ選び、頭初の番号を記入せよ。

1. 私はすれちがった。 2. 私は握手させられた。  
3. 私は感激した。 4. 私はしゃくにさわれた。  
5. 私はびっくりした。

E. 下線部(e)の意味にもっとも近いものを、下の1~  
5の中から一つ選び、頭初の番号を記入せよ。

1. arrage 2. decide 3. eat 4. mend  
5. prepare

F. 下線部(f)を和訳せよ。

G. 次の1~7の各文のうち、本文の内容と一致するも  
のを三つ選び、頭初の番号を若い順に記入せよ。

1. Poor Alma, living with her children apart from  
her husband Joe, was surprised and excited  
at our gift of \$20.
2. I didn't have the courage to ask Joe what he  
intended to do with the money.
3. Alma was going to invite Joe to her home  
for Christmas dinner; for he had nobody to  
keep Christmas with.
4. Alma was going to take over Joe's job, so  
she turned down our offer.
5. Joe earns his living by working as a porter,  
and Alma by attending to the washrooms.
6. Poor as they may be, both Joe and Alma are  
warm-hearted and generous.
7. When I went to see her, Alma cried, "Oh! I  
wish I could accept."

IV. 次の文の下線部を和訳せよ。答えは解答用紙の所定欄  
にしるせ。

A man who owns a summer cottage on a lake may  
not have a good time during the summer season,  
but the chances are dozens of his friends who visit  
him do.

V. 次の1~4の各項において、英文の空所a~kにそれ  
ぞれ適当な一語を入れると、日本語の英訳になる。空所  
に入れるべき語を解答用紙の所定欄にしるせ。

1. それは君とはなんの関係もないことだ。  
That \_\_\_\_\_ a \_\_\_\_\_ nothing to \_\_\_\_\_ b \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ c \_\_\_\_\_ you.
2. どうしてもこのたちの悪いかざが抜けないので  
す。  
I simply cannot \_\_\_\_\_ d \_\_\_\_\_ e \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ f \_\_\_\_\_ this bad cold of mine.
3. もはや彼女の無作法はがまんできない。  
I can no longer \_\_\_\_\_ g \_\_\_\_\_ h \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ i \_\_\_\_\_ her rudeness.
4. きょうはよいお天気になるかもしれない。  
It may \_\_\_\_\_ j \_\_\_\_\_ k \_\_\_\_\_ to be a nice  
day today.

VI. 次の文を読み、下の問いに答えよ。解答はすべて解答  
用紙の所定欄にしるせ。

(1) (2)  
アメリカに10年間住んで最近帰国したおじは、東京は  
交通があまりはげしいのでニューヨークより自動車を運  
転するのがずっとむずかしいといっている。

1. 次の空所 a, b にそれぞれ適当な一語を入れる  
と、A, B はともに下線部(1)の英訳になる。a,  
bに入れるべき語を記入せよ。

- A. My uncle who has recently returned from  
the United Staes \_\_\_\_\_ a \_\_\_\_\_ living there  
for ten years...
- B. My uncle who has recently returned from  
the United States, \_\_\_\_\_ b \_\_\_\_\_ he lived for  
ten years,...

2. 下線部(2)を, so.....that を用いて英訳せよ。

(2) time traveler, I felt the same surge of excitement as the loudspeaker said that line of \*surf

(1. by 2. in 3. on) the distance was the coast of Europe. To leave one's job and one's cares behind, to step on a plane and fly overnight to an entirely different way of life, is an experience that never goes stale. (注 \*surf: the broken water where the sea strikes the shore)

- (1) 文中の空所イ〜へを埋めるのにもっとも適当な語を、( )内の語群から選び、その番号を記入せよ。
(2) 下線部(1)の radically-changed circumstances とは、どのような状態(A)からどのような状態(B)に変わったというのか。その相違点を文中からぬき出し、(A)と(B)に分けて日本語でしるせ。
(3) 下線部(2)に the same surge of excitement とあるが、same とはいつの場合と same だと言っているのか、簡単に日本語で答えよ。

V. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

A wise man named Franklin Field once wrote, "The great dividing line between success and failure can be expressed in five words: 'I did not have time.'"

In this wild and excited age it often seems that there are not enough hours in the day to accomplish the things to which we aspire. So we abandon ideas. Yet the world is full of people who, through sheer determination, have found ways of setting aside at least an hour a day for creative self-development. Indeed, I have often noted that the busier the individual, the more likely he is to be one of those who create a daily hour of privacy for themselves.

次のイ〜ホの文のうち、本文の内容に合致するものには○印を、合致しないものには×印を、それぞれ解答用紙の所定欄に記入せよ。

- イ. To succeed in life, one must do one's job as hard as possible and not spare any time for one's own creative self-development, saying, 'I did not have time.'
ロ. To say 'I did not have time,' seems only an excuse of those who wouldn't set aside any private time to realize their own ideas.
ハ. However busy one may be, one can find time to accomplish the things to do privately.
ニ. The busier one is, the more likely one is to say, 'I did not have time.'
ホ. There are not a few people who manage to create an hour of privacy for day.

VI. 次の文を英訳せよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

けさ出がけに母に言われた。「学校の帰りに叔父さんの家に寄るのを忘れないでね。」

理学部

I. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

(1) A girl came out as governess (イ) the children of some English people settled on an island, and after a while she was asked in marriage by a planter. On the face of it, it was a good match

(2) (ロ) her; he was well-off, a very good fellow and well-liked. The girl was as much (ハ) love with him as he was with her, but her employers

(3) urged her not to be in a hurry and persuaded her to England for six months so that she might (ニ) certain of her own mind. She came back at the end of this period and the pair were married, but on the understanding that they should have no children.

A. 文中の空所(イ)(ロ)(ハ)(ニ)を埋めるのに、もっとも適当な語の下の語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- (イ) 1. on 2. to 3. in 4. at
(ロ) 1. to 2. at 3. against 4. for
(ハ) 1. in 2. to 3. on 4. by
(ニ) 1. have 2. make 3. get 4. take

B. 下線部分(1)(2)(3)について、それぞれの指示に従い、答えを解答用紙の所定欄に記入せよ。

- (1) 下の a~d から 'governess' の説明として、もっとも適当なものを選び。
a. a woman who is a wife of a governor
b. a woman who is employed to train and teach a child
c. a woman who gives the breast to a child
d. a woman who governs a house

- (2) 下の e~h からと同じ意味の語を選び。
e. handsome f. healthy g. prosperous h. stylish
(3) 'persuade' の名詞形を書け。ただし、~ing 形および ~er 形を除く。

II. 例にならって、下線部分の品詞を変え、各組の文の意味が同じになるように空所(イ)~(ロ)をそれぞれ適当な一語で埋めよ。答えは解答用紙の所定欄にしるせ。

- 例. He never intended to do it.
He (had) no (intention) of doing it.
a. He expressed his dissatisfaction with the result of the conference.
He said that he (イ) (ロ) with the result of the conference.
b. Though ninety years of age, she holds her senses in full possession.
Though ninety years of age, she is fully (ハ) (ニ) her senses.
c. I told my mother all that I knew without loss of time.
I (ホ) (ヘ) time in telling my mother all that I knew.
d. He apparently acted on my advice.
He (ト) (チ) have acted on my advice.
e. I informed him that I had arrived safely.
I informed him (リ) my safe (ヌ)

III. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

I shall never forget the indulgence (イ) which he treated Hodge, his cat; for whom he himself used to go out and buy oysters, lest the servants, having that trouble, should take a dislike to the poor creature. I am, unluckily, one of those who have an antipathy to a cat, so that I am uneasy when in

(B) the room with one; and I own that I frequently suffered a good deal (ロ) the presence of this same Hodge. I recollect him one day scrambling up Dr. Johnson's breast, apparently with much satisfaction, while my friend, smiling and half-whistling rubbed down his back, and pulled him (ハ) the

(C) tail; and when I observed he was a fine cat, he said, 'Why, yes, Sir, but I have had cats whom I'd like,

(D) better than this'; and then, as if perceiving Hodge to be out of countenance, he added, 'But he is a very fine cat indeed.'

(1) 文中の空所(イ)(ロ)(ハ)を埋めるのに、もっとも適当な前置詞を下の語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- 1. as 2. at 3. by 4. for
5. from 6. in 7. into 8. on
9. to 10. with 11. of 12. over

(2) 下線部(B)と同じ意味の語を下の語群の中から一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- 1. access 2. confess 3. excess 4. possess
5. progress 6. recess.

(3) 下線部(C)と同じ意味の 'observe' を含む文を下から一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- 1. I have never observed him by otherwise.
2. He used to observe silence.
3. He observes keenly but says little.
4. Do the observe Christmas day in India?
5. He observes heavenly bodies at night.
6. Allow me to observe that you have been deceived.

(4) 下線部(A)を和訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄にしるせ。

(5) 下線部(D)を和訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄にしるせ。

(VI 英語問題省略)

法学部

I. 下の各群 a~f の中から、与えられた日本語の英訳として不適当なものを一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- a. 彼女ははるかにきのう羽田に行きましたかときいた。
1. She said to me, "Did you go to Haneda yesterday?"
2. She told me that I had gone to Haneda the day before.
3. She inquired of me if I had gone to Haneda the previous day.
b. 新版は旧版ほど高くない。
1. The new edition is less expensive than the old one.
2. The new edition is not so expensive as the

ol. one.
3. The new edition is rather expensive than the old one.

a. 駅に着いたときには、汽車が出たあとだった。
1. When I reached the station, the train has already started.

2. When I reached the station, the train had already departed.

3. The train had left before I got to the station

d. その質問は答えにくい。
1. The question is not easy to answer.

2. It is hard to answer that question.

3. That is not a hard question to answer.

e. かれははるかに私をおこらせたのに気がついていない。
1. He is not aware that he offended me.

2. He is unaware of that he has offended me.

3. He is not aware of having offended me.

f. 東京に来て3年たった。
1. It has been three years ago since I came to Tokyo.

2. It is three years since I came up to Tokyo.

3. Three years have passed since I came to Tokyo.

II. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

George was a neighborhood boy who had quit high school on an impulse when he was sixteen, and though he was ashamed every time he went looking for a job, when people asked him if he had finished and he had to say no, he never went back to school. This summer was a hard time for jobs and he had none. Having so much time on his hands, George thought of going to summer school, but the kids in his classes would be too young. He was close to twenty, but had no money to spend, and he couldn't get more than an occasional few cents because his father was poor, and his sister Sophie, who resembled George, a tall girl of

(1) twenty-three, earned very little and what she had she kept for herself. Their mother was dead, and Sophie had to take care of the house. Very early in the morning George's father got up to go to work in a fish market. Sophie left at about eight for her long ride in the subway to cafeteria. George had his coffee by himself, then mopped floors with a wet mop and put things away. In the afternoons he listened to the ball game. (a) he read in old copies of the magazines and newspapers that Sophie brought home, and that had been left on the table in the cafeteria. In the evening after supper George left the house and wandered in the neighborhood. He walked for blocks till he came to a darkly lit little park with benches and

(2) trees and an iron railing, giving it a feeling of privacy. He sat on a bench there, watching the leafy trees and the flowers blooming on the inside of the railing, thinking of a better life for himself. He felt he would some day like to have a good job and live in a private house with a porch, in a street with trees. He wanted people to like and respect him. He thought about these things often but

(3) mostly when he was alone at night. Around midnight he got up and drifted back to his hot and stony neighborhood.

A. 下の1~6の中から、本文の内容と一致するものを一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- 1. George は勤めながら夏季学校に通い、父と Sophie が勤めに出てしまうと自分でコーヒーを入れた。
2. George は学校を出たが職はなく、昼は夏季学校に通い、夜は公園に出かけて未来の生活をあれこれ

受付中

ICA 英会話 タイプ

986-0088・9

英会話コース

★一般コース

★特別コース

★独仏コース

タイプコース

★高校、大学生コース

★一般コース

★すぐ実務に役立つよう

国際会話院

院長 法博 山崎 晴一

豊島区南池袋1-17-4 (西武デパート並び目白寄り) 西口校新築開講 (池袋西口駅前第二、三笠ビル8階)

- 4. on 5. while
- c. 1. if 2. even 3. by
- 4. but 5. and
- d. 1. after 2. at 3. for
- 4. like 5. on
- e. 1. on 2. in 3. for
- 4. by 5. at
- f. 1. full of 2. good care of 3. sure of
- 4. the best of 5. well of
- g. 1. well 2. very 3. quite
- 4. much 5. most
- h. 1. by lacking 2. for lacking 3. in lacking
- 4. lacked 5. lacking
- i. 1. with 2. through 3. in
- 4. for 5. by
- j. 1. during the time 2. before the time
- 3. by the time 4. over the time
- 5. on the time

II. 次の対話を読み、下の問いに答えよ。

Henderson. (a) Mr. Smith, you have never paid an income tax.  
 Smith. That's right.  
 Henderson. Why not?  
 Smith. I don't believe in it.  
 Henderson. Well — you own property, don't you?  
 Smith. Yes, sir.  
 Henderson. And you receive a yearly income from it?  
 Smith. I do.  
 Henderson. Of — (He consults his records) — (b) .  
 Smith. About that.  
 Henderson. You've been receiving it for years.  
 Smith. I have. 1901. (c) .  
 Henderson. Well, the Government is only concerned from 1914 on. That's when the income tax started.  
 Smith. Well?  
 Henderson. Well — it seems, Mr. Smith, that you owe the Government twenty-two years' back income tax.  
 Smith. Look, Mr. Henderson, let me ask you something.  
 Henderson. Well?  
 Smith. (d) — mind you, I don't say I'm going to do it — but just for the sake of argument — what's the Government going to do with it?  
 Henderson. How do you mean?  
 Smith. Well, what do I get for my money? (e) , there it is — I see it. What does the Government give me?  
 Henderson. Why, the Government gives you everything. It protects you.  
 Smith. What from?  
 Henderson. Well — invasion. Foreigners that might come over here and take everything you've got.  
 Smith. Oh, I don't think they're going to do that.  
 Henderson. (f) , they would. How do you think the Government keeps up the Army and the Navy? All those battleships...  
 Smith. Last time we used battleships was in the Spanish-American War, and what did we get out of it? Cuba — and we gave that back. I wouldn't mind paying (g) .  
 Henderson. (Beginning to get annoyed) . Well, what about Congress, and the Supreme Court, and the President? We've got to pay them, don't we?  
 Smith. (Ever so calmly) . (h) — no sir.  
 Henderson. (Furious) Now wait a minute! I'm not here to argue with you. All I know is that you haven't paid an income tax and you've got to pay it!

A. 上の対話中 (a) ~ (d) の空所をうめるのもっとも適当なものを下記イ群 (1~4) から、(e) ~ (h) の空所をうめるのもっとも適当なものを下記ロ群 (5~8) から選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- イ 群
- 1. suppose I pay you this money
  - 2. between three and four thousand dollars
  - 3. if you want the exact date
  - 4. according to our records

- ロ 群
- 5. not with my money
  - 6. if you don't pay an income tax
  - 7. if it were something sensible
  - 8. if I go to a department stores and buy some thing

B. 上の対話がおこなわれている時代は次のどのどれか。その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- (1) 1900年代 (2) 1910年代 (3) 1920年代
- (4) 1930年代 (5) 1940年代

C. Henderson は Smith のところへ何をしに来たのか。その答えとしてもっとも適当と思われるものを下記1~5より一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- 1. 税金の説明をしに来た。
- 2. 年収の査定をしに来た。
- 3. 未払い税金の督促をしに来た。
- 4. 脱税の調査をしに来た。
- 5. 差し押さえをしに来た。

III. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

Your mind, like your body, is a thing where of the powers are developed by effort. That is a principal use of hard work in studies. Unless you train your body you cannot be an athlete, and unless you train your mind you cannot be much of a scholar.

(1)  
 The four miles an oarsman covers at top speed is in itself nothing to the good, but the physical capacity to hold out over the course is thought to be of some worth. So a good part of what you learn by hard study may not be permanently retained, and may not seem to be of much final value, but your mind is a better and more powerful instrument because you have learned it. Knowledge is power, but still more the faculty of acquiring and using knowledge is power. If you have a trained and powerful mind, you are bound to have stored it with something, but its value is more in what it can do, what it can grasp and use, than in what it contains.

A. 下記の1~5の中で、本文の内容と一致するものには○を、一致しないものには×をそれぞれ解答用紙の所定欄に記入せよ。

- 1. The author argues that the value of knowledge comes from physical training.
- 2. The author emphasizes the need for hard work in studies.
- 3. The author maintains that knowledge is more powerful than physical capacity.
- 4. The author implies a scholar is more useful than an athlete.
- 5. The author admits that much of the knowledge one acquires may be lost.

B. 下線部(1)を和訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄に書け。

C. 下線部(2)と内容的にほぼ同じようなことを述べている部分が本文中にある。その部分を原文のまま解答用紙の所定欄にしるせ。

IV. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

While Japan and the United States appear to be far apart geographically, in actuality the efficiency of ocean transportation brings us relatively close to each other. The United States is in fact closer to Japan by normal trade routes than are any of

the other great industrialized nations. Since the United States and Japan stand first and sixth in terms of production among the nations of the world and have only an unbroken stretch of ocean highway between them, our two countries are among the most natural trading partners in the world.

A. 本文中に日米間の貿易が特にさかんである理由があげてある。その理由を二つ、それぞれ20字以内の日本語で解答用紙の所定欄に書け。句読点は字數にかぞえない。

B. 下線部(1)におきかえるのもっとも適当な一語の英語を解答用紙の所定欄に記入せよ。

C. 下線部(2)を和訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄に書け。

D. 下線部(3)は具体的には次のどれをさすか。その符号(イ~ニの中の一つ)を解答用紙の所定欄に記入せよ。

- イ. a nonstop jet-airliner
- ロ. a normal trade route by air
- ハ. the Pacific Ocean
- ニ. regular ocean transportation

V. 次の文を読み、下の問いに答えよ。

(1)  
 きのう、私たちのクラブは日本文化について討論しました。そのとき、同級生のひとりが日本人は日本に古くからある芸術のよさを理解すべきだ、ということ(2)を強調しました。

(3)  
 (4)  
 A. 下線部(1)の英訳としてもっとも適当なものを次の中から一つ選び、解答用紙の所定欄にその番号を記入せよ。

- 1. discussed Japanese culture
- 2. discussed about the culture of Japan
- 3. discussed on Japanese culture
- 4. discussed over Japanese culture

B. 下線部(2)を英訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄に書け。

C. 下線部(3)を英訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄に書け。

D. 下線部(4)の英訳として適当なものを次の中から一つ選び、解答用紙の所定欄にその番号を記入せよ。

- 1. exaggerated 2. stressed
- 3. convinced 4. strengthened

社会学部

I. 次の各文の空所に、もっとも適当と思われる語を、下と与えられた1~5の中から選び、その番号を解答用紙の所定欄に記入せよ。同じ語を同度使用してもよい。

- (a) イ does that soup taste like?
- (b) ロ sort of Japanese dishes do you like best?
- (c) ハ book is this? Yours or his?
- (d) ニ do you prefer, tennis or cricket?
- (e) These hats all look alike; ホ is which?  
 1. how 2. who 3. whose 4. what  
 5. which

II. 次の文の下線部(1)および(2)を和訳せよ。訳文は解答用紙の所定欄にしるせ。

There is one fable that touches very near the quick of life; the fable of the monk who passed into the woods, heard a bird break into song, listened for a note or two, and found himself a stranger at his convent gates when he came back there; for he had been absent fifty years, and of all his comrades three survived but one recognize him.

III. 次のそれぞれの空所に適当な一語を補えば、等号の前後の文がほぼ同じ意味になる。補うべき語を解答用紙の所定欄にしるせ。

- (1) What do you say to making a one day trip next Sunday? = What イ going ロ a one-day trip next Sunday?
- (2) You were kind enough to have come to see me off the other day. = It was ハ kind ニ you to have come to see me off the other day.
- (3) You might bring me today's paper while I'm waiting. = ホ would like ヘ to bring me today's paper while I'm waiting.
- (4) The countrywoman had no less than ten children. = The countrywoman had as ト as チ children.
- (5) The boy's progress in speaking English was such that it surprised his teacher. = The boy's progress in speaking English was so remarkable リ ス surprise his teacher.

IV. 次の文を読み、下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙の所定欄にしるせ。

My very first trip to Europe was made in an army transport plane, filled イ (1. by 2. of 3. with) war supplies. Yet even under those unpromising conditions, the sight of the coast of Europe—which I had longed for years to see—was one of the great thrills of my life. Suddenly to be passing ロ (1. by 2. on 3. over) tiny squares of fields, ハ (1. above 2. at 3. in) farm villages with ancient church steeples, and then to see the familiar landmarks of larger cities was ニ (1. beyond 2. for 3. like) relieving thousand novels and picture books.

Since that first Atlantic flight, I've repeated the process ホ (1. in 2. on 3. with) many

(1)  
 occasions and under radically-changed circumstances—the last time in a four-engine jet, attended by blonde stewardesses. And yet, even as the many-